



豊橋市
予算の
見どころ

令和2年度

豊橋市予算のみどころ

目次

▶ 令和2年度 豊橋市予算の紹介	3
▶ 一般会計の財政状況	5
▶ 重点的に推進する取組み	
・ 切れ目のない子育て支援の取組み	12
・ 未来を担う人づくりの取組み	15
・ 環境をまもり未来へつなぐための取組み	20
・ 交流とおもてなしの取組み	22
▶ 戦略計画に基づく主な取組み	
・ 活力みなぎる産業創出プロジェクト	26
・ 選ばれるまち豊橋プロジェクト	28
・ ほの国創生プロジェクト	30
・ しあわせファミリープロジェクト	31
・ いきいき長寿プロジェクト	33
・ 都市強靱化プロジェクト	36
・ コンパクト+ネットワーク推進プロジェクト	39
・ 未来に羽ばたく人づくりプロジェクト	41
・ まちECO実践プロジェクト	44
・ その他の事業	45

※ 各取組みのページ右上には、事業に関連するSDGsの目標（10ページ参照）を記載しています。

※ 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

令和2年度 豊橋市予算の紹介

未来をつくる、持続可能なまちづくりにエール

予算の特徴

全国的な課題でもある人口減少や自然環境の悪化、地域経済の活性化など、本市を取巻く状況も例外ではありません。SDGs未来都市に選定された本市は、SDGsの理念に沿った多様な取組みを積極的に推進することで、地域とともに、そして世界とともに、誰一人取り残さない持続可能なまちの実現を目指します。

そこで、新年度は、以下の4つの取組みを重点的に進めていきます。

重点的に推進する取組み

切れ目のない子育て支援の取組み

1歳から中学生及び高校3年生のインフルエンザ予防接種費用への助成や、18歳までの入院医療費無償化、児童クラブ待機児童の解消を目的としたクラブの増設や定員増加など、子育て世帯を応援する取組みを充実します。

未来を担う人づくりの取組み

小学校の部活動廃止を見据え、放課後の新たな学びの場として、「のびるん de スクール」を開設します。また、八町小学校に開設する、英語を用いて学ぶ「イマージョン教育コース」や、若者が政策提案を行う「わかば議会」の開催などを通して、未来の豊橋を担う人材を育てます。

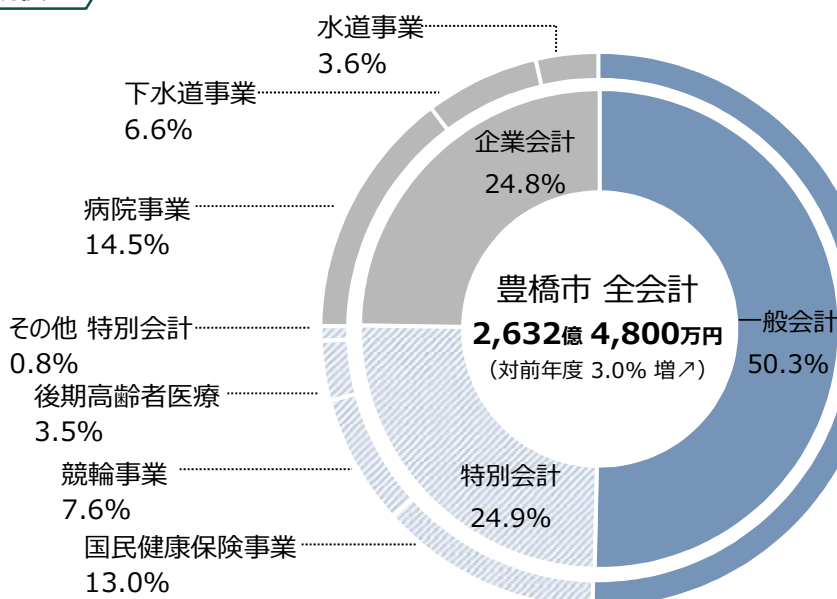
環境をまもり未来へつなぐための取組み

530運動発祥の地で環境実践都市である本市として、プラスチックごみの削減に向け、マイボトル・マイカップの利用を促進します。また、再生可能エネルギー利用100%のまちを目指し、エネルギーの地産地消の取組みとして、地域新電力の事業化へ向けた調査を実施します。

交流とおもてなしの取組み

連続テレビ小説「エール」を活用した地域活性化や、ナショナルサイクルルートの指定を目指すサイクルツーリズムの取組み、また8月に行われるオリンピック・パラリンピック関連事業などを通じ、様々な人との交流の中、豊橋へ人を呼び込むおもてなしの取組みを展開します。

予算規模



会計別予算

一般会計

1,325 億 3,000 万円 (対前年度 2.2% 増↗)

斎場の再整備や、駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業補助金などの大型事業のほか、幼児教育・保育の無償化が平年度化したことに伴う事業費の増加により、全体で2.2%増加しました。

特別会計

655 億 4,900 万円 (対前年度 2.5% 増↗)

地域下水道事業が企業会計へ移行したものの、被保険者の増加に伴う後期高齢者医療の増や、競輪事業で全日本プロ選手権自転車競技大会記念競輪が開催されることなどにより、特別会計全体で2.5%増加しました。

競輪事業	200億6,600万円 7.3% 増↗	国民健康保険事業	340億9,400万円 0.6% 増↗
総合動植物公園事業	18億9,200万円 3.6% 増↗	公共駐車場事業	2億9,600万円 20.3% 増↗
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	2,400万円 2.0倍↗	後期高齢者医療	91億7,700万円 10.4% 増↗
地域下水道事業 (企業会計へ移行)	— 皆減↘		

企業会計

651 億 6,900 万円 (対前年度 5.2% 増↗)

地域下水道事業特別会計が企業会計へ移行し下水道事業と統合したことや、病院事業において抗がん剤や血液製剤等の薬品費が増加した影響などにより企業会計全体で5.2%増加しました。

水道事業	95億5,200万円 3.2% 増↗	下水道事業	174億8,900万円 4.2% 増↗
病院事業	381億2,800万円 6.1% 増↗		

〔参考〕前年度当初予算額

一般会計	1,297 億 4,000 万円	特別会計	639 億 5,300 万円	企業会計	619 億 6,100 万円
全会計	2,556 億 5,400 万円				

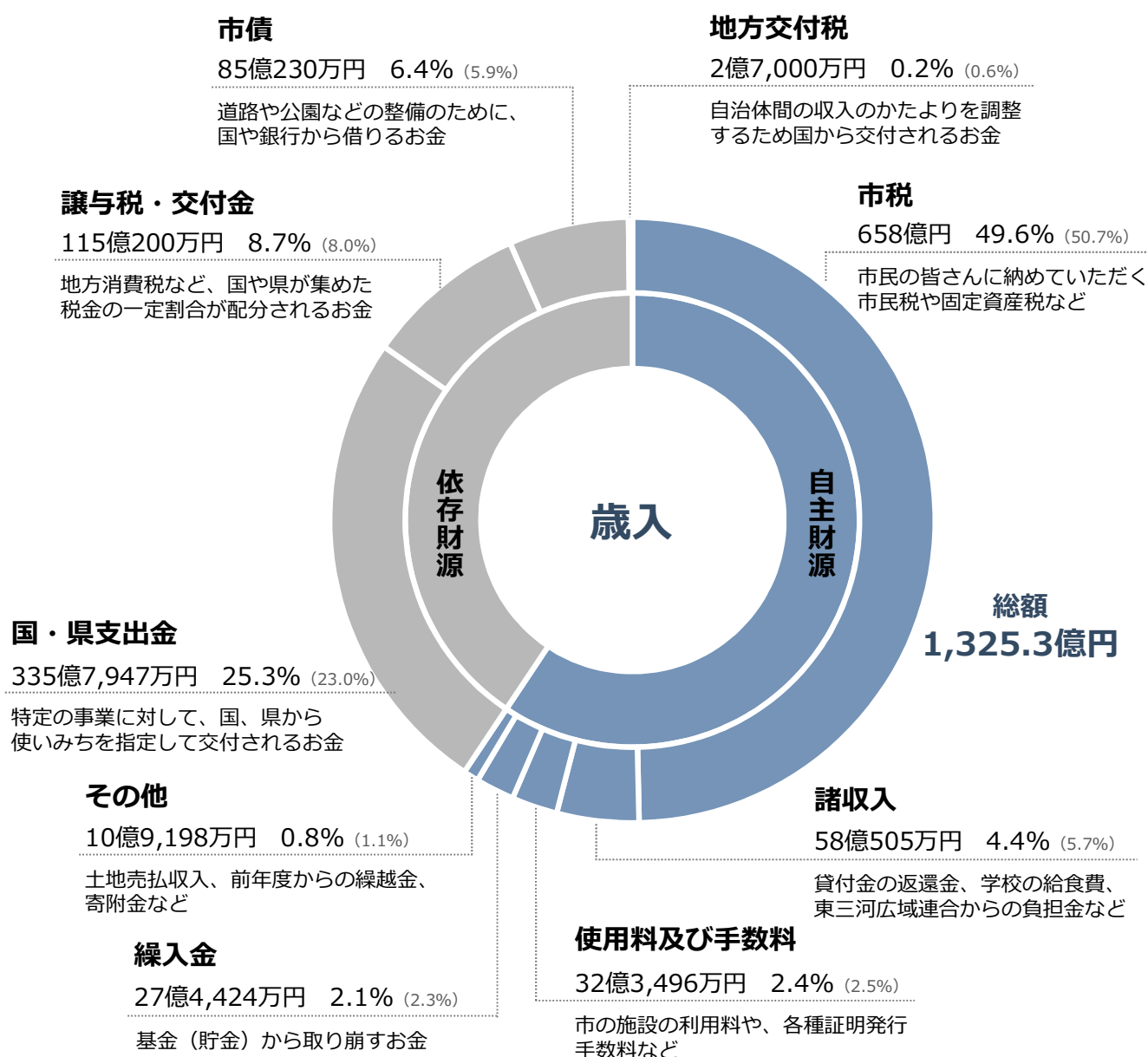
一般会計の財政状況

令和2年度 歳入の内訳

- ・市税収入は、所得環境の改善により個人市民税が増加するものの、税制改正の影響等で法人市民税が減少することなどから、前年度並みの658億円を計上
- ・普通交付税は、不交付団体となる見込みで、平成21年度以来11年ぶりに計上を見送り。あわせて、臨時財政対策債の計上も見送った
- ・市債は、斎場整備事業や市街地再開発事業の影響などにより前年度比10.2%増の85億円

歳入

P.5~7の()内は前年度構成比



自主財源 … 市が自主的に収入できる財源。この割合が高いほど安定的で自主的な財政運営が可能であるといえる

依存財源 … 国や県により用途や金額が定められ、交付される財源

令和2年度 歳出の内訳

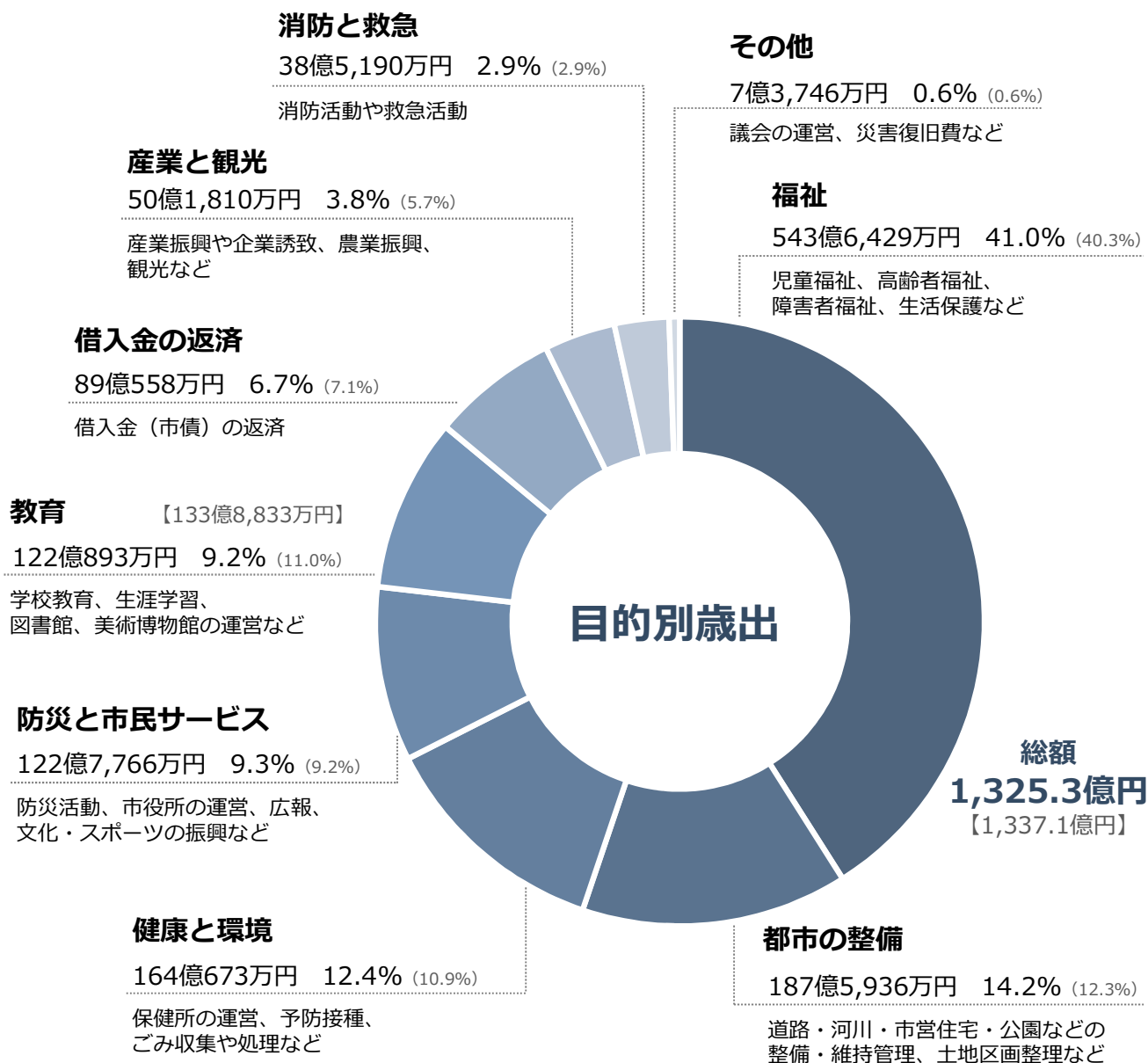
【目的別】

- ・福祉（民生費）：幼児教育・保育無償化の平年度化などにより、3.9%増の543.6億円
- ・教育（教育費）：令和2年度の前倒しとして、小学校の校舎長寿命化改良工事等を令和元年度3月補正予算に計上し繰り越すことなどにより、14.3%減の122.1億円（3月補正予算計上額を加えた場合、6.0%減）

【性質別】

- ・義務的経費：公債費は減少したものの、幼児教育・保育無償化の平年度化に伴う扶助費の増や、会計年度任用職員制度の開始に伴う人件費の増などの影響により3.3%の増
- ・投資的経費：斎場整備事業や市街地再開発事業補助金など大型事業の影響により14.7%の増

目的別歳出



性質別歳出

P.6~7の【 】内は、令和2年度当初予算の前倒しとして、令和元年度3月補正予算に計上し繰り越すものを加えた額

その他

21億9,516万円 1.7% (1.7%)

中小企業への融資や、基金への積み立てなど

補助費等

80億3,188万円 6.1% (7.6%)

東三河広域連合負担金など、各種団体に対する負担金や補助金など

扶助費

363億5,282万円 27.4% (26.9%)

児童手当、生活保護、保育所・幼稚園などの運営、医療費の援助など

繰出金

138億7,300万円 10.5% (10.7%)

一般会計から特別会計、企業会計へ支出する経費

物件費

191億4,738万円 14.4% (14.8%)

光熱水費や施設の管理費など

普通建設事業費・

災害復旧費 【224億1,353万円】

212億3,413万円 16.0% (14.3%)

学校や公園、道路など公共施設の整備や、災害からの復旧など

人件費

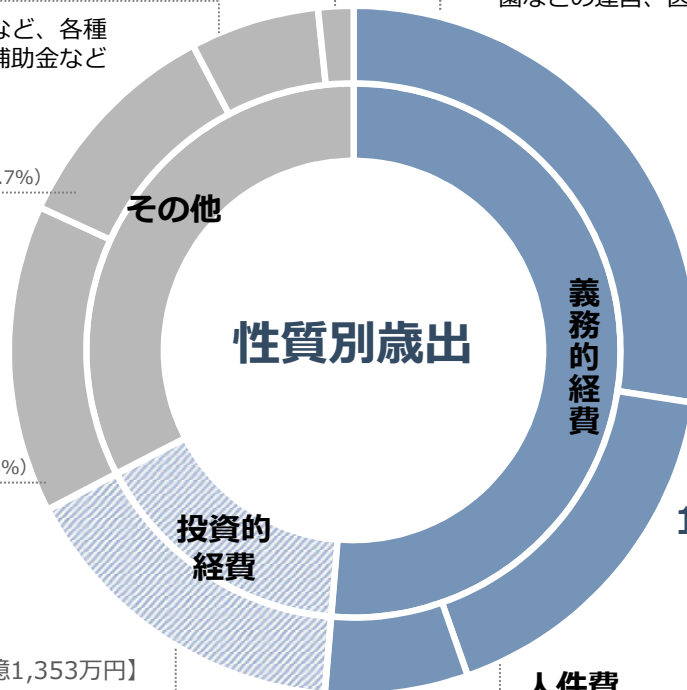
227億9,005万円 17.2% (16.8%)

職員給与、議員報酬など

公債費

89億558万円 6.7% (7.1%)

過去の借入金の返済



総額
1,325.3億円
【1,337.1億円】

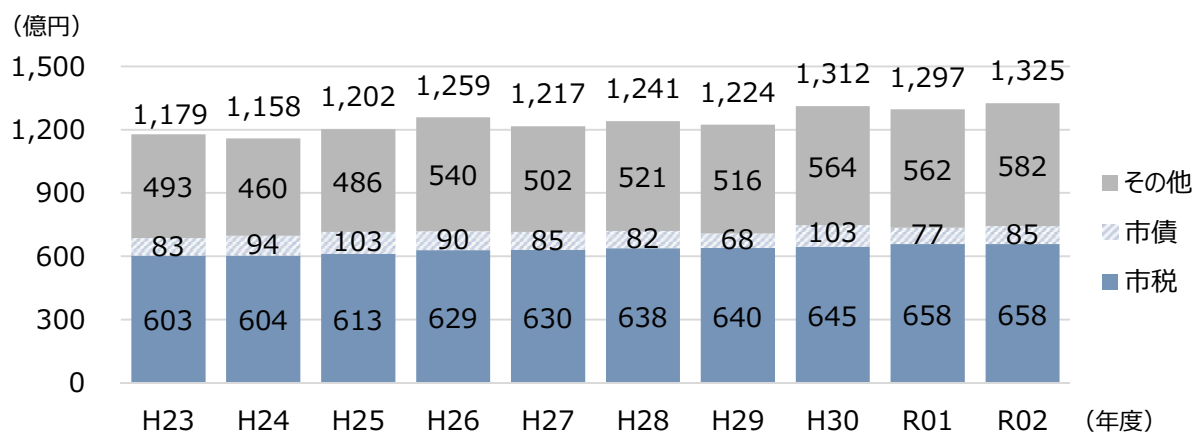
性質別経費の比較

	義務的経費	投資的経費	その他
R02	680.5億円	212.3億円	432.5億円
(対前年度)	(+21.6億円)	(+27.2億円)	(△20.9億円)
R01	658.9億円	185.1億円	453.4億円

義務的経費 … 支出することが法令などによって義務付けられ、任意に節減することができない経費

予算規模の推移

歳入・歳出総額



市税割合(%)	51.2	52.2	51.0	50.0	51.8	51.4	52.3	49.2	50.7	49.6
市債依存度(%)	7.0	8.1	8.6	7.2	7.0	6.6	5.5	7.8	5.9	6.4
一般財源比率(%)	67.8	69.3	67.2	65.3	67.3	66.2	66.2	63.6	63.2	61.4
自主財源比率(%)	62.9	63.5	62.3	62.6	62.4	62.0	63.1	61.5	62.4	59.4

市税

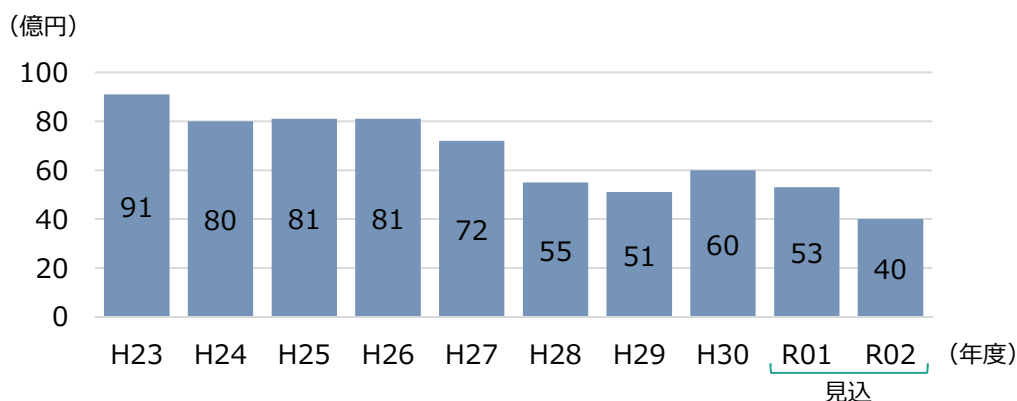
項目	R02年度	R01年度	増減	備考	
市税	658.0億円	658.0億円	0.0億円		
主な内訳	個人市民税	236.7億円	231.8億円	+5.0億円	給与所得の増
	法人市民税	36.5億円	51.3億円	△14.8億円	企業業績の状況、税制改正に伴う減
	固定資産税	283.9億円	276.3億円	+7.6億円	家屋の新增築分の増
	市たばこ税	23.0億円	22.8億円	+0.2億円	

地方交付税等

項目	R02年度	R01年度	増減
地方交付税	2.7億円	8.0億円	△5.3億円
うち普通交付税	—	2.0億円	皆減
臨時財政対策債	—	7.0億円	皆減
普通交付税+臨時財政対策債	—	9.0億円	皆減
地方消費税交付金	82.0億円	69.0億円	+13.0億円

財政調整基金

年度末残高の推移



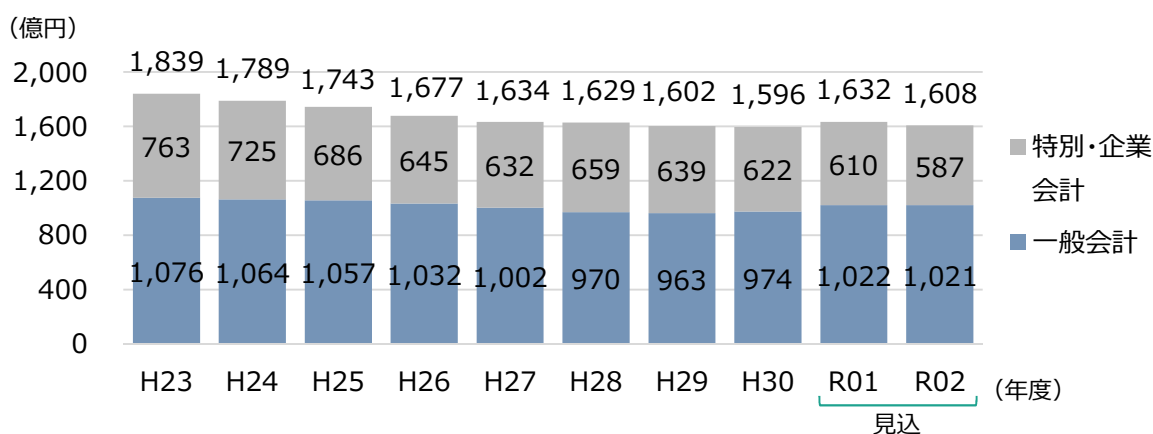
R02年度中の増減

積立 約14.2億円 利子 + R01年度決算剰余金 × 1/2

取崩 26.7億円 △2.9億円 (R01年度 : 29.6億円)

地方債

年度末残高の推移



項目	R02年度末(見込)	R01年度末(見込)	増減
一般会計	1,021億円	1,022億円	△1億円
うち建設地方債	693億円	656億円	+36億円
うち特別地方債(※)	328億円	365億円	△37億円
全会計	1,608億円	1,632億円	△24億円

※特別地方債は、減税補てん債、臨時財政対策債の合計を計上しています。

【参考】SDGs (持続可能な開発目標)の推進

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人として取り残さない世界の実現」を基本理念に掲げています。



「持続可能な豊橋」の推進

豊橋市では、インドネシアでの水道技術支援やボルネオ島での野生動物保全活動などの国際貢献に資する取組みのほか、バイオマス利活用センターの整備による地球温暖化防止や循環型社会の形成など多くの施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化に役立てています。

新年度におきましても、誰もが安心して暮らせる地域を目指し「持続可能な豊橋」を推進します。なお、「予算の見どころ」掲載の各取組みには、関連するSDGsの目標を記載しています。

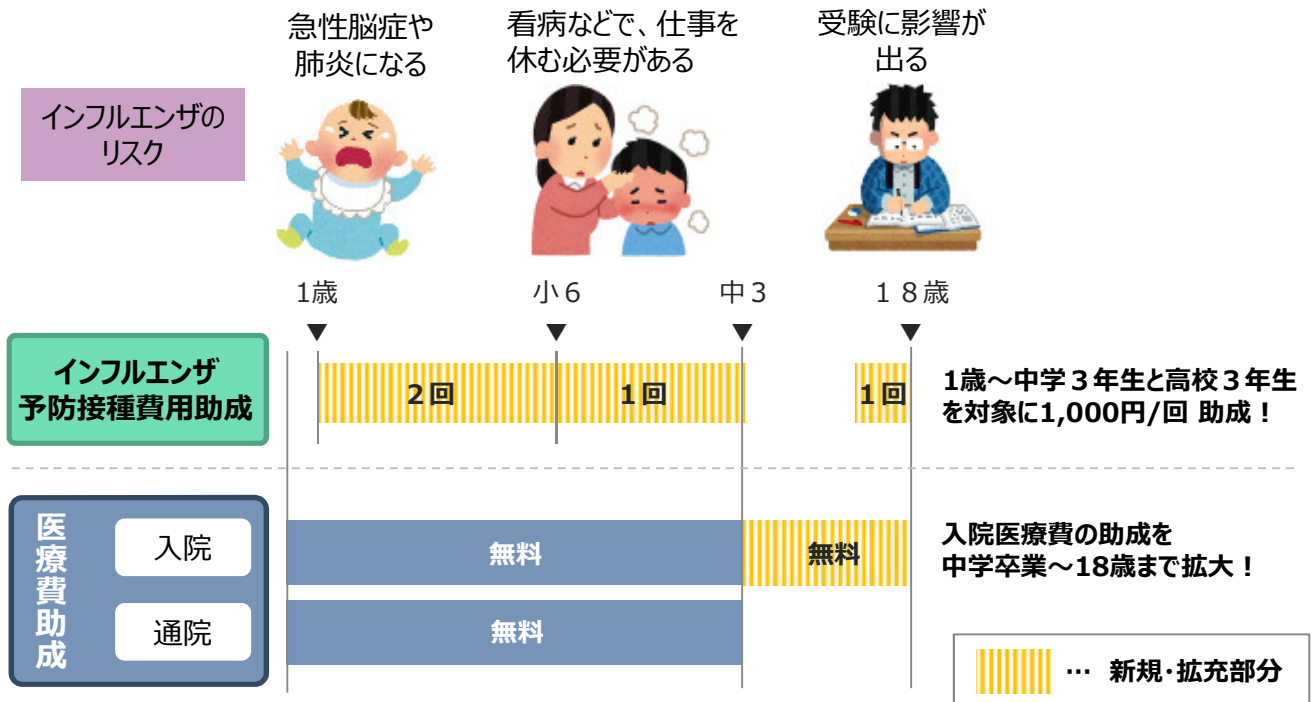


重点的に推進する取組み



インフルエンザや入院による 子育て世帯の負担を減らします

感染症の罹患や入院は生活や学業への支障となり、経済的負担も大きくなります。このような子育て世帯の負担を軽減するため、インフルエンザワクチン接種に係る費用助成を開始するとともに、入院医療費に係る助成を18歳まで拡充します。



感染症にかかる人が減少することで、医療費全体の抑制にも繋がります。

ポイント

1. インフルエンザワクチン接種費用の助成 **新規**

子どものインフルエンザワクチンの予防接種に対する費用助成を開始します。(令和2年10月開始予定)

対象者	回数	助成額
1歳から小学6年生	2回/年	
中学1年生から中学3年生	1回/年	1,000円/回
高校3年生	1回/年	

2. 子ども医療費助成の対象を18歳までの入院医療費に拡大 **拡充**

中学生までの入院・通院の医療費の助成に加え、18歳までの入院医療費にかかる自己負担額を償還払いにより無料化します。(令和2年10月診療分より開始予定)

事業費

17億2,535万円

お問い合わせ

健康政策課 [1.]
(0532) 39-9109
kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp

こども家庭課 [2.]
(0532) 51-3161
kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp



不妊検査・治療をする夫婦は5.5組に1組 子どもを望む夫婦のために、不妊治療費の補助を拡充します

より若い世代に不妊治療を受診していただくため、特定不妊治療費の補助の拡大と、妊娠・出産の経済的な支援として、産婦健康診査の2回目への助成を実施します。

不妊治療費助成

継続
一般不妊治療費*1補助金

拡充
特定不妊治療費*2補助金

- ・ 所得制限の撤廃
- ・ 補助額の増額

不妊治療に向き合う夫婦の
経済的負担の緩和

産婦健康診査

継続
産婦健康診査 1 回目
出産後 2 週間頃の健診

拡充
産婦健康診査 2 回目
出産後 4 週間頃の健診
・ 公費負担開始

産後うつや新生児への虐待予防と
妊娠・出産の経済的な支援



ポイント

1. 特定不妊治療費への助成を市独自で拡充 **拡充**

国の基準により実施している特定不妊治療への助成について、豊橋市独自に所得制限額の撤廃と補助額の上乗せを行います。

【所得制限】	夫婦の前年所得合計730万円未満 → 撤廃		
【補助額】	体外受精・顕微授精の補助額の上限に15万円を上乗せ		
	補助額(上限)	現行	令和2年度～
	初回	30万円	45万円
	2回目以降	15万円	30万円

2. 産婦健康診査2回目への助成 **拡充**

産後の初期段階における母子に対する支援を強化するため、産婦健康診査1回目につき2回目の費用を助成します。

*1 一般不妊治療費 … 人工授精に要する治療費のことです。

*2 特定不妊治療費 … 不妊治療のうち、体外受精や顕微授精などの高度な生殖医療の治療費のことです。

事業費

1億4,758万円

お問い合わせ

こども保健課

(0532) 39-9160

kodomohoken@city.toyohashi.lg.jp



放課後の待機児童ゼロへ向けて 7つの児童クラブ増設、夏休み限定児童クラブ等で受入強化

働く子育て世帯を応援するため、就学前から、就学後までの切れ目のない支援体制を構築するよう新たな児童クラブを開設するとともに、夏休み期間における利用ニーズへの対応と、教育委員会と連携した放課後児童対策の充実を図ります。



ポイント

1. 新たな児童クラブを大幅に増設

拡充

【公営】 6クラブ増設

松葉第三、つつじが丘第三、高師第三、芦原第三、花田第三、岩西

【民営】 1クラブ増設

第四明照

令和2年度の児童クラブ数 + 7クラブ

公営児童クラブ数 53 ⇒ 59

民営児童クラブ数 40 ⇒ 41

2. 移転等による児童クラブの定員増加

【公営】 4クラブ定員増加

牛川第三、二川南第二、天伯、栄第三

3. 夏休み限定児童クラブの開設

拡充

利用者ニーズが高い夏休み期間の利用に限定した児童クラブを、市内5か所で開設します。

4. 障害児受入強化推進事業補助金の創設

新規

障害児を一定数以上受け入れる民営児童クラブに対し助成を行うことで障害児の受入れを強化します。

事業費

8億9,401万円

お問い合わせ

こども家庭課

(0532) 51-3160

kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp



地域とともに、子どもの学力・体力向上 「のびるん de スクール」を小学校2校で開設

放課後に学校施設を利用して、地域の方々や大学生とふれあい、交流しながら、子どもたちの学ぶ意欲やコミュニケーション能力、体力の向上を図り、社会を生き抜く力を育てます。



ポイント

1. 「のびるん de スクール」の開設

新規

放課後の新たな学びの場として、「のびるん de スクール」を汐田小学校と牛川小学校に開設し、全ての子どもたちを対象に多彩な学び・交流機会を提供します。

・ 学力・体力を伸ばします

学校の授業に無い体験学習や、専門家によるスポーツ教室等を通して、子どもたちの学力・体力の向上を目指します。

・ 地域に開かれた学校を目指します

学校施設を活用し、子どもたちの健全育成や地域コミュニティの活性化を図ります。

実施校	汐田小学校、牛川小学校
実施日	平日（月～金曜日）の放課後 年間約200日
内容	学習、スポーツ活動、地域交流

事業費

2,064万円

お問い合わせ

生涯学習課

(0532) 51-2849

shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp





公立小学校全国初！ 八町小に「英語漬け」で学ぶ「イマージョン教育コース」を開設

「英語を用いたコミュニケーション力を自分の長所として生かし、グローバル社会で活躍できる人材の育成」をねらいとした「豊橋版イマージョン教育」を本格的に実施し、「子どもの夢を応援するまち とよはし」の実現に向けた特色ある教育活動を推進します。



ポイント

1. イマージョン教育コースの開設

八町小学校に国語、道徳以外の教科等について英語を用いて学ぶ「イマージョン教育コース」を全学年で開設し、グローバル社会で活躍することのできる子どもを育成します。

・ ティーム・ティーチングによる授業の実施 拡充

日本人教員と外国人英語指導員によるティーム・ティーチングを基本として、ICT機器を有効に活用し、個人追究や協働学習を進めることにより「主体的・対話的で深い学び」のできる授業を実施し、豊橋版イマージョン教育を推進します。

・ イマージョン教育に対応した教育環境の整備 新規

英語と教科の学習内容を効果的に理解できるよう、プロジェクターを投影することのできる前面黒板に加えて、背面黒板を使用するなど多面的かつ視覚的な授業を行うことのできる学習環境を整備します。

事業費

4億8,367万円

(令和元年度3月補正予算計上予定の工事費含む)

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2806

kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp

学校教育課（教育会館）

(0532) 33-2113

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



豊橋版イマージョン教育とは …

公立小学校で全国初となる豊橋のイマージョン教育は、日本語の教科書を英訳した補助プリント等を使用して、通常の授業と同じ内容を英語で学びます。豊橋市が先進的に進めてきた「英会話のできる豊橋っ子育成プラン」の取り組み成果や人材を生かし、英語習得に特色をもった学習環境づくりに取り組みます。「イマージョン=浸すこと」



外国人児童が学校に慣れるはじめての一步 岩西小に小学校初期支援コース「きぼう」を開設

来日間もない外国人児童のための初期支援コース「きぼう」が岩西小学校内に開設されます。基本的な日本語会話ができるようになり、日本の学校生活への不安を取り除き、日本での生活に希望がもてるようになります。



日本の学校生活や基本的な日本語について、丁寧に少人数指導を行います。



ポルトガル語やタガログ語の通訳が常駐し、母語支援を行います。



ポイント

1. 初期支援コース「きぼう」を開設

新規

岩西小学校に来日間もない外国人児童（小学3～6年生）の生活適応支援や日本語指導を集中的に行う、センター的な通級教室を設置します。

・ 中学校初期支援コース「みらい」のノウハウを生かし、丁寧な少人数指導

学校での一日の流れやルール、掃除や当番活動等、日本の学校に必要な生活習慣を身につけます。

基本的な日本語での会話や読み書き、算数の基礎などについて、少人数指導を行います。

ポルトガル語とタガログ語の通訳が常駐しますので、安心して学習することができます。

・ 指導体制

対象	市内に住む外国または外国人学校からの編入児童（3～6年生）
支援期間	週5日間（月～金曜日）6週間（約150時間） 支援修了後は在籍校への登校になります。
通学方法	保護者による送迎

事業費

1,274万円

お問い合わせ

学校教育課

(0532) 51-2826

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



若者が主体的に政策提案 豊橋わかば議会を開催

豊橋市の将来を担う若者が参加する「豊橋わかば議会」を開催します。自分たちが住みたくなるまちの実現に向けて、「夢」や「思い」を政策として提案し、事業化を目指します。



わかば議会

TOYOHASHI

ポイント

1. 若者による政策提案事業

新規

公募で選ばれた若者が、議論やワークショップを通して豊橋の未来を創るための政策を提案します。公募委員は豊橋市在住・在学・在勤の中学卒業から25歳までの若者から選ばれます。

・若者のまちづくりに対する意識の向上

政策を提案するために議会形式で議論を交わしたり、政策提案に必要な調査や情報収集を主体的に行い、まちづくりに対する意識を高めます。

・若手職員とともに事業を推進

同世代の職員を配置し、若者をサポートします。

事業費

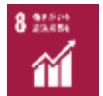
578万円

お問い合わせ

市民協働推進課

(0532) 51-2483

shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp



大学生・高校生のアイデアを「カタチ」にする交流空間 ガクラボがOPEN

南部窓口センター2階の遊休空間を活用し、学生が自由に使うことのできる場を開設します。この場に集う学生の意欲的な活動を応援することで、豊橋のまちへの愛着・経験・関わりづくりにつなげます。



ポイント

1. 学生の学びと交流空間「ガクラボ」の開設

・ アイデアを「カタチ」にするワークショップの実施

ウォールステッカーによる壁面装飾や看板づくりなど、ガクラボを魅力的にするアイテムを自分たちで手作りできるワークショップを定期的に実施し、ガクラボの空間を創り上げていきます。

・ ガクラボ発のイベント・プロジェクトを応援

学生が自分たちの手で創り上げた空間に集い、興味・関心のあるイベントやプロジェクトを行うことができます。Wi-Fiや充電設備、ホワイトボードなども整っており、打合せ場所やサークル、ゼミ活動でも気軽に利用できます。

・ 企業・地域・行政などの情報を発信

企業・地域・行政などの情報を学生に提供するとともに、学生が豊橋のまちや企業に関わるきっかけをつくります。

事業費

722万円

お問い合わせ

産業政策課

(0532) 51-2641

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

■ プラスチックごみ削減への取組み



530のまち豊橋は「プラ」も530 海洋汚染問題はマイボトル・マイカップから

海洋プラスチックごみ問題の解消に向け、使い捨て（ワンウェイ）プラスチック削減に関する取組みや海洋プラスチックごみ問題に関する環境啓発イベントを実施します。

マイボトル・マイカップを持ち歩くライフスタイルの推進

環境啓発イベント (レース・フォー・ウォーター号寄港イベント)



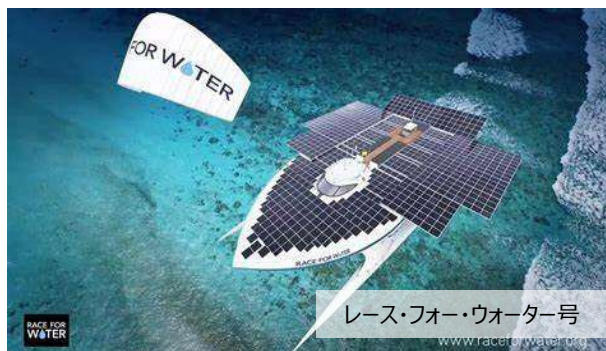
オリジナルマイボトルの作成



マイボトル・マイカップ
対応店舗マップ化



無料給水スポット設置



船内見学

乗組員によるワークショップ

ポイント

事業費

1. マイボトル・マイカップの利用促進 新規

421万円

- ・ とよはしオリジナルマイボトル（タンブラー）の販売
豊橋市オリジナルマイボトルを製作し、市役所じょうほうひろばや環境イベント等で販売します。
- ・ 無料給水スポット（ウォーターサーバー）の設置
市役所内に、マイボトル・マイカップを持ってきた方が自由に利用できる無料給水スポット（ウォーターサーバー）を設置します。
- ・ マイボトル・マイカップ対応店舗のマップ化
市内でマイボトル・マイカップに対応している店舗の情報をマップ化し、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」で情報発信していきます。
- ・ 会議でのペットボトル飲料提供取りやめ
市が主催する会議でのペットボトル飲料の提供を取りやめ、マイボトル・マイカップの利用を促進します。

2. レース・フォー・ウォーター号寄港に伴う環境啓発 新規

地球環境にやさしいエネルギー（太陽光・風力・水素）だけで動く船「レース・フォー・ウォーター号」の豊橋寄港にあわせ、未来を担う子どもたちに対し、海洋プラスチックごみ問題の啓発を図るイベントを開催します。

お問い合わせ

環境政策課 [1.]
(0532) 51-2454
kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

環境保全課 [2.]
(0532) 51-2385
kankyohozen@city.toyohashi.lg.jp

再生可能エネルギーの普及と エネルギーの地産地消を進めます

必要なエネルギーを地域でまかなう「エネルギーの地産地消」を進めるため、再生可能エネルギーの普及とともに、地域で生まれたエネルギーを地域で活用する仕組みを検討します。

目指す姿

2050年 再生可能エネルギー利用100%のまち とよはし
～ 豊橋市役所はRE100※の実現を目指します ～

※RE100…事業活動に必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーでまかなうこと。

(豊橋市地産地消エネルギー指針より)



エネルギーを



ポイント

1. エネルギーの地産地消推進事業 新規

- ・ **地域新電力事業の事業化可能性調査及びマイクログリッドの検討**
エネルギーの地産地消の仕組みを構築するため、地域新電力事業の事業化可能性調査やマイクログリッドの検討を実施します。
- ・ **エネルギーの地産地消の普及啓発**
エネルギーの地産地消に関する小学生向けのパンフレットや、公共施設等へ掲示する啓発ポスターを作成し、子どもから大人・事業者へと幅広い普及啓発を実施します。

2. 再生可能エネルギーの普及促進 拡充

- ・ **ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）による補助**
新築住宅におけるゼロエネルギー化の更なる普及を図るため、ZEHへの補助を拡充します。

3. エネルギーの地産地消（電力の自家消費）の推進 拡充

- ・ **リチウムイオン蓄電池による電力の自家消費**
家庭でのエネルギーの地産地消の更なる普及を図るため、リチウムイオン蓄電池への補助を拡充します。

事業費

5,855万円

お問い合わせ

温暖化対策推進室

(0532) 51-2419

ondanka@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市出身の古関金子さんがモデル 「エール」で豊橋を盛り上げます！

豊橋市出身の古関金子（きんこ）さんをモデルとした連続テレビ小説「エール」が3月30日から放送されます。ドラマの舞台地であることをイベントなどでPRしながら、豊橋を盛り上げていきます。



モデルとなった
古関裕而さんと金子さん

ポイント

1. 「エール」を活用した地域活性化

新規

・ イベントの開催

「エール」による誘客を促進するため、金子さんが過ごした時代の豊橋にスポットを当てたイベントや、作曲を体験するイベントなどを開催するとともに、道の駅「とよはし」など集客効果の高い場所で関連イベントを開催します。

・ 番組展等の開催

「エール」のファンによる地域活性化を図るため、市内商業施設や公共施設等において、番組の紹介パネルの展示や映像の上映など番組展を開催します。

・ 市内外でのプロモーションの実施

「エール」による市の認知度向上・イメージアップを図るため、鉄道への中吊り広告や路面電車のラッピング広告を行うとともに、首都圏などで物産展を開催します。

・ 地域間交流の促進

新たな人の流れを創出し交流を図るため、音楽や祭りなどをテーマに福島市などと連携した事業に取り組みます。

2. ロケツーリズムの推進

新規

「エール」の放送をきっかけに本市を訪れてもらうため、オブジェを設置するとともに、「エール」ライセンス商品の販売等を行います。

事業費

3,458万円

お問い合わせ

シティプロモーション課 [1.]

(0532) 51-2179

citypromotion@city.toyohashi.lg.jp

観光振興課 [2.]

(0532) 51-2430

kanko@city.toyohashi.lg.jp

企業版ふるさと納税 対象事業

地方創生に関する幅広い事業に対して、
企業の皆様から寄附を募ります。



サイクリストのおもてなし環境を充実 サイクルツーリズムを進めます

世界に誇り得るサイクリングルートとして国が指定する「ナショナルサイクルルート」のゲートウェイ（玄関口）を目指し、道の駅「とよはし」や豊橋駅においてサイクリスト受入環境の向上や情報発信などの拠点整備に取り組みます。



ポイント

- ゲートウェイ機能の整備** 新規
 道の駅「とよはし」や豊橋駅において、着替えスペース、ロッカー、自転車組立スペースの設置など、サイクリストを受け入れる環境を整備します。
- サイクルピットの整備** 拡充
 サイクリストがサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や、簡易なメンテナンスを行える環境を整備します。
- サイクリストの受入体制の強化** 新規
 道の駅「とよはし」で専門スタッフによる相談など、サイクリストをサポートする体制を整えます。
- サイクルトレインのPR強化** 新規
 豊橋鉄道渥美線のサイクルトレイン車両やホーム乗車位置に案内表示を設置します。
- 広域連携・情報発信** 新規
 近隣の市や事業者と連携したサイクリングイベントの開催や情報発信を行います。また、外国人サイクリストに対応した英語版のサイクリングマップを作成します。

事業費

1,384万円

お問い合わせ

都市交通課 [1. 2. 4. 5.]
 (0532) 51-2620
 toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

観光振興課 [1. 3. 5.]
 (0532) 51-2430
 kanko@city.toyohashi.lg.jp

農業企画課 [1.]
 (0532) 51-2464
 nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

「東京2020大会」を盛り上げるとともに パラスポーツを通じ共生社会の実現を目指します



本市ゆかりのアスリートの応援や、ホストタウン相手国のドイツ・リトアニアとの交流、さらにはパートナーシティとの交流を通じ、東京2020大会を盛り上げます。また、そのレガシーとしてパラスポーツを通じた共生社会の実現を目指した取り組みを進めます。



ポイント

1. 東京2020大会応援事業

・東京2020オリンピック聖火リレーの開催 新規

4月7日(火)に本市でも開催される東京2020オリンピック聖火リレーを市民と共に盛り上げ、東京2020大会の機運を高めます。

・ドイツテコンドー代表・リトアニアゴールボール代表の事前合宿・事後交流

世界で活躍するオリンピック・パラリンピアンによる東京2020大会に向けた合宿を誘致するとともに、大会後には選手団と市民との交流会を開催します。

2. パラスポーツを通じた共生社会の実現

・豊橋市にゆかりのあるパラリンピアン等による出前授業の開催 新規

パラアスリートから自身の障害について話を聞くだけでなく、選手の迫力やスキルを肌で体感することができる出前講座を小学生対象に実施し、障害に対する意識の転換を図ります。

・地元企業との共同によるパラスポーツの体験会の開催 新規

本市でパラスポーツを推進している民間企業と共に、様々なパラスポーツの体験ができる機会を創出し、パラスポーツの振興を図ります。

3. パートナーシティとの交流

ドイツ・ヴォルフスブルグ市及びリトアニア・パネヴェジス市の訪問団の受入れや、ヴォルフスブルグ市で開催される国際青年会議への高校生や大学生の派遣を通じて、国際感覚を醸成しグローバル人材を育成します。

事業費

4,468万円

お問い合わせ

「スポーツのまち」づくり課 [1. 2.]
(0532) 51-2367
sports@city.toyohashi.lg.jp

多文化共生・国際課 [3.]
(0532) 51-2023
kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp

戦略計画に基づく主な取組み



「日本でいちばん女性が輝くまち」へ 女性のキャリアアップを応援します

女性が能力を発揮し、自身の望む生き方ができるよう、資格取得や新しい分野への進出・チャレンジを応援します。



とよはし女性応援プロジェクトの様子

ポイント

1. **女性キャリアアップ応援補助金** 新規
求職中の女性が就職に役立つ国家資格を取得した際に、かかった費用の一部を助成します。
2. **女性スキルアップ支援補助金** 拡充
女性従業員のスキルアップを支援するため、事業者が負担した業務上必要な国家資格・公的資格の取得費用の一部を助成します。
3. **とよはし女性応援プロジェクト推進事業** 拡充
働く女性のネットワークづくりと女性活躍を实践する企業等を増やすため、異業種交流によるセミナーを実施します。
4. **リケジョ魅力発信事業** 新規
豊橋市内の大学と連携し、女子生徒や保護者を対象に、理系分野で研究する魅力を伝えるセミナーを開催することで、理系進学を後押しします。
5. **女性再就職支援事業** 拡充
再就職を目指す女性を対象とした就職相談及びセミナーを実施することで、女性の就職率向上を目指します。

事業費

383万円

お問い合わせ

市民協働推進課 [1. 3. 4. 5.]
(0532) 51-2483
shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp

商工業振興課 [2.]
(0532) 51-2437
shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



「台風に強い施設園芸産地」を目指します 農業用ハウスの強靱化を支援

既存ハウス（今後10年以上の利用が見込まれるハウス）を対象に、台風によるハウスへの被害を軽減するための補強等を行うことにより、災害被害を未然に防止し、台風災害に強い施設園芸産地の形成を図ります。



台風による被害

補強例



天窗補強



非常用電源



基礎補強



筋交補強



無動力換気扇設置



トラス補強

ポイント

1. 農業用ハウス強靱化緊急対策事業

平成30年12月14日に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、農業用ハウスの災害被害を未然に防止するため、農業用ハウスの補強や非常用電源の導入費用の一部を助成します。

・非常用電源の共同利用取組を追加で措置 **拡充**

国の農業用ハウス強靱化緊急対策事業実施要領の一部改正に伴い、非常用電源の導入の取組を追加措置しました。

事業費

4,687万円

お問い合わせ

農業支援課

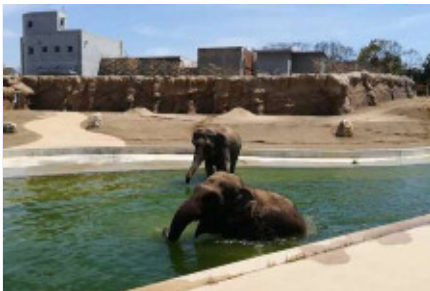
(0532) 51-2476

nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp



いよいよ100万人は目前に 命を伝え、未来につなぐ、「のんほいパーク」はさらに魅力アップ！

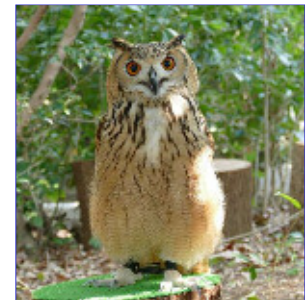
演出効果が高く、飼育環境向上にも配慮した獣舎の整備を進めるとともに、自然史博物館では、調査研究活動の充実や特別企画展の開催により、100万人プロジェクト達成に向けて、さらなる魅力アップを図ります。



走ったり水浴びができる自由な空間へ
～オスゾウ放飼場の拡張整備



生息地に近い環境を
～トラ放飼場の改修整備



森が育む命を展示する
～バードエリア(ふくろうの森)の整備



フィールドは科学のゆりかご
～調査研究活動の充実



生物多様性を科学する
～特別企画展の開催

ポイント

- 動物園のリニューアル** 拡充
 - ゾウ放飼場の拡張、トラ放飼場の改修、バードエリアの整備
リニューアル事業を推進し、動物の飼育環境と展示効果の向上を図ります。
- 自然史博物館事業** 拡充
 - 調査研究活動の充実
より質の高い教育普及活動を実施する先進的で魅力ある博物館を目指し、海外での調査を始めとした多様な活動を進めるなど、調査研究活動の充実を図ります。
 - 特別企画展「地球は昆虫であふれている」の開催
昆虫に触れ合える体験コーナーや進化が迎えられる展示を通して、昆虫の魅力や生物多様性損失の現状を紹介します。
 - 3D上映システムによる大型映像の上映
日本最大級の3D上映システムにより、迫力のある恐竜番組などを上映します。

事業費

3億3,939万円

お問い合わせ

動植物園 [1.]
(0532) 41-2186
doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp

自然史博物館 [2.]
(0532) 41-4747
shizenshi@city.toyohashi.lg.jp



「続日本100名城」 吉田城址 400年以上の歴史を誇る石垣の保全に取り組みます

「続日本100名城」に認定されて以来、関心が高まっている吉田城址の魅力向上や公園施設としての安全確保のため、石垣の保全に取り組みます。また、発掘調査による再評価と新たな価値づけを進め、吉田城址の史跡指定を目指します。



御城印

ポイント

【史跡指定を目指して】

史跡としての価値を明らかにするため、発掘調査を実施します。今後、石垣の積み直しや土塁の修復など、遺構の保存と整備を進め、史跡指定を目指します。

1. 石垣カルテの作成、三次元計測を行います

拡充

目視による現状把握、専門家による安全度の判定、現状写真・略測図を掲載した石垣カルテを作成します。また、不測の崩落に対する修復の根拠とするため、三次元計測を実施します。

2. 石垣の長寿命化計画を策定します

新規

損傷や劣化の見られる石垣を計画的に管理していくため、長寿命化計画を策定します。

事業費

2,919万円

お問い合わせ

美術博物館（文化財センター） [1.]

(0532) 56-6060

bijutsu@city.toyohashi.lg.jp

公園緑地課 [2.]

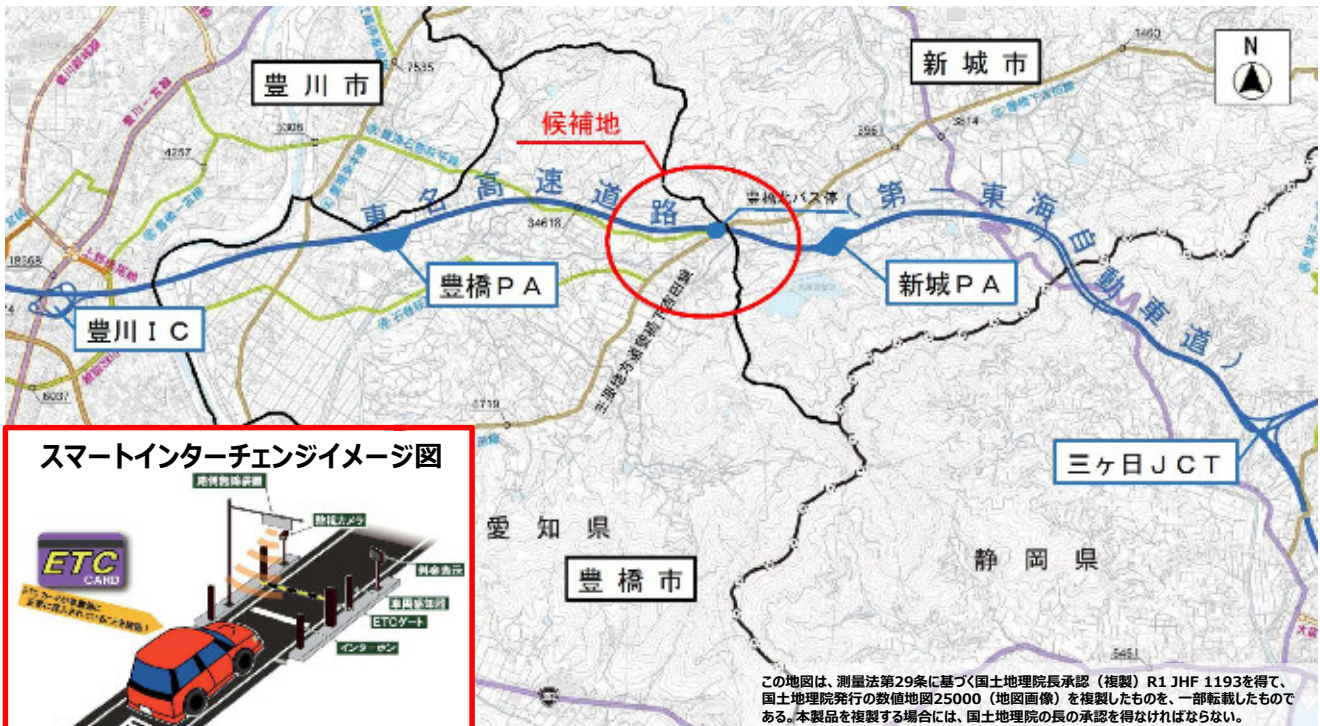
(0532) 51-2650

koenryokuchi@city.toyohashi.lg.jp



豊橋初となるインターチェンジ設置に向け 早期の事業化を目指します

東名高速道路の愛知県にかかる I C 間隔で、最も長い三ヶ日 I C～豊川 I C 間の 17.8km に、豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）を設置することで、産業・医療・防災の面で様々な効果が期待できます。



スマートインターチェンジイメージ図



ポイント

1. 豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の設置に向けた検討

- ・ 令和元年9月に準備段階調査の箇所に採択

豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）は、平成30年から隣接する新城市と共同で調査検討してきました。令和元年9月には、豊橋初となるインターチェンジとして、国による準備段階調査の箇所に採択され、早期の事業化を目指しています。

- ・ 令和2年度はスマートインターチェンジの詳細検討

豊橋市と新城市の市境で、東名高速道路と主要地方道豊橋下吉田線が交差する東名豊橋北バス停付近を候補地としており、上りは新城市側、下りは豊橋市側で検討を進めていきます。また、詳細検討として、インターチェンジや道路の構造などについて検討を進めます。

スマートインターチェンジとは …

通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。

事業費

7,003万円

お問い合わせ

道路建設課

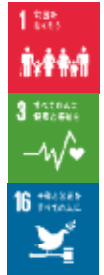
(0532) 51-2520

dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

児童相談所設置を含めた きめ細かい支援体制の検討を進めます

相談からの支援メニューを充実させ、周知啓発による働きかけによって、児童虐待の未然防止を図り、親子が孤立することなく身近に感じる相談支援に取り組みます。

また、本市に相応しい児童相談体制のあり方を検討します。



ポイント

- 1. 児童相談所設置を含めた児童相談体制の検討** 新規
児童相談所設置に関する有識者検討会議を開催し、子どもや家庭をめぐる様々な課題に対するきめ細かい児童相談体制のあり方を検討します。
- 2. 親支援プログラム「怒鳴らん子育て講座」の実施** 拡充
4月から「体罰禁止」が法定化されるため、具体的な子育てのコミュニケーションを学ぶ講座を開き、児童虐待を未然に防ぐ取り組みを進めます。
- 3. 要支援家庭ショートステイ事業** 拡充
育児不安や育児疲れで休息を必要とする相談者の負担軽減を図るため、児童養護施設等で子どもの一時的な預かりを実施します。

事業費

112万円

お問い合わせ

こども若者総合相談支援センター
(0532) 51-2327
kodomo-sougou-center
@city.toyohashi.lg.jp



法人保育所・認定こども園のリニューアルを支援 第2次法人保育所施設等整備計画開始

就学前の子どもが健やかに育成される環境を整えることを目的に、法人保育所や認定こども園が行う施設整備に対する補助事業を継続的に実施しています。

令和2年度は、第2次法人保育所施設整備計画に基づく大規模改修を開始します。また認定こども園施設整備も進め、あわせて4園の施設整備に対して助成を行います。



施設整備の事例（園舎や内装等のようす）

ポイント

1. 法人保育所等施設整備（3園）

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修に要する経費の一部を助成します。

東山保育園

新規

松葉保育園

新規

認定こども園 円通寺保育園

新規

2. 認定こども園施設整備（1園）

幼稚園から認定こども園へ移行するために必要な乳児室や調理室等の施設整備に要する経費の一部を助成します。

こばと幼稚園

新規

事業費

11億7,714万円

お問い合わせ

保育課

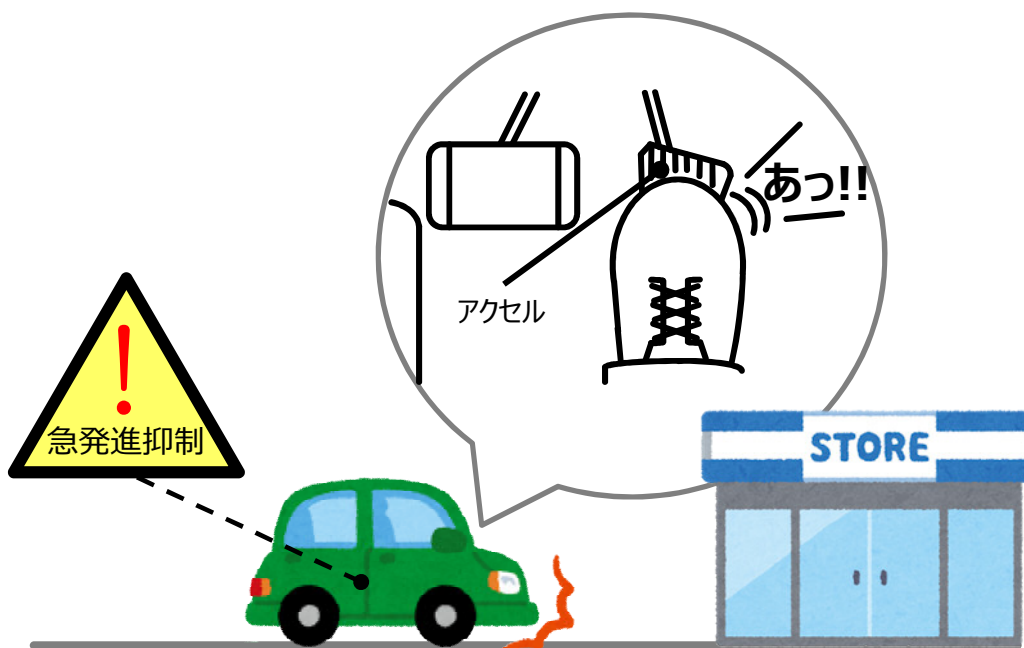
(0532) 51-2316

hoiku@city.toyohashi.lg.jp



高齡ドライバーによる交通事故抑制へ 免許自主返納と安全運転支援装置設置を促進

高齡ドライバーによる交通事故が社会問題になっていることを受け、運転免許を自主返納した後の移動支援や、アクセル・ブレーキのペダル踏み間違い事故を防止する後付け装置の設置を促進し、交通安全の確保を図ります。



ポイント

1. 運転免許自主返納支援補助金 新規

70歳以上の運転免許自主返納者に対して交通助成券を交付するとともに、電動アシスト自転車の購入費用を助成します。

種別	補助額
交通助成券	5,000円 (タクシー券等)
	9,000円 (元気バス)
電動アシスト自転車	15,000円

事業費

7,553万円

お問い合わせ

安全生活課
(0532) 51-2550
anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp

2. 安全運転支援装置設置促進補助金 新規

令和元年11月から実施している現行制度について、対象となる年齢を65歳に引き下げるとともに所得要件を廃止し、後付け装置の設置を促進します。

種別	補助額(上限)	補助率
急発進等抑制装置	32,000円 (障害物検知機能付き)	個人支払額の 4/5
	16,000円 (障害物検知機能なし)	
衝突防止補助装置	60,000円	本体価格の 2/3



東海3県公立病院初*！ 手術支援ロボットシステムを増設して2台体制に

東三河の中核病院として、患者にやさしい安心安全な医療を提供するため、手術支援ロボットシステムを増設(2台体制)し、ロボットシステムを用いた先端医療に積極的に取り組みます。



ポイント

1. 手術支援ロボットシステムの増設

・手術支援ロボットシステムを用いた手術件数の増加

平成25年度の導入以降、専用手術室を備えた手術センター棟を整備したほか、中部地方で初の婦人科領域における症例見学施設に認定されるなど、手術支援ロボットシステムを用いた手術に積極的に取り組んでおり、手術件数が年々増加しています。

年度	H26	H27	H28	H29	H30
手術件数	39件	79件	82件	92件	173件

・令和2年より肺悪性腫瘍手術にも使用

令和2年より新たに肺悪性腫瘍手術を開始するとともに、更なる手術件数の増加が見込まれることなどから、2台体制へと増強し、先端医療を用いた患者にやさしい安心安全な医療を推進します。

手術支援ロボットシステムとは …

『ロボット部』『操作部(コンソール)』『助手用モニター部』で構成されています。術者は『操作部』に映し出される3D画像を見ながら、先端に鉗子やメスなどを取り付けるアームとカメラアームが装着された『ロボット部』を遠隔操作して手術を行います。傷口が小さく出血量が極めて少ないため、皮膚や筋肉を切開した術後の痛みがほとんどなく、術後の回復が早くなるなど、患者さんの負担が大幅に軽減されます。

* 東海3県で4番目(大学病院以外では東海3県初)

事業費

お問い合わせ

市民病院管理課

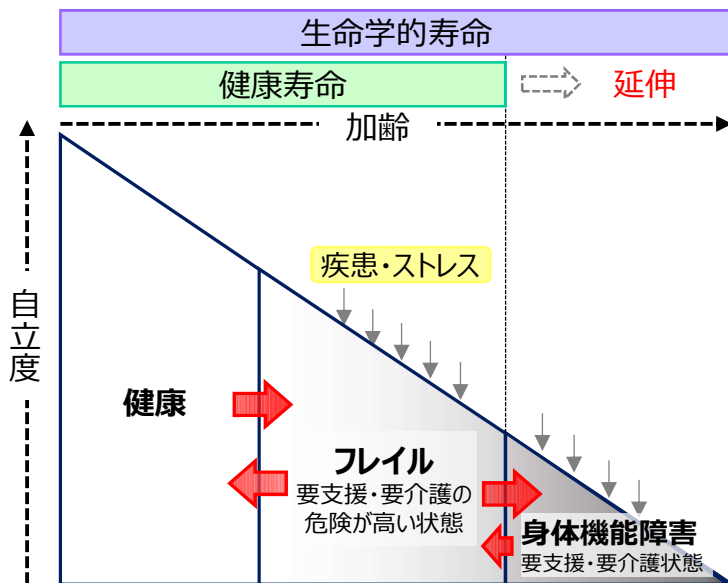
(0532) 33-6111

hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp



身近な場所で フレイル予防をはじめませんか

人生100年時代を元気で活躍し続けられるように、フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）予防で、市民の身近な場所を利用して健康づくりを行います。



フレイルの悪循環を断ち切る！！



ポイント

1. 身近な場所でのフレイル予防

- ・ 校区のイベントの機会を利用した体力測定の体験会 **新規**
健康に関心な人々が健康づくりについて考えるきっかけづくりとして、校区のイベント会場などで簡単な体力測定を実施します。
- ・ 地区体育館等で体力測定会と栄養に関する講話 **新規**
より詳しい体力測定を行い、効果的な運動方法をご紹介します。また、バランスの良い食事や適切な食事量をお伝えします。
- ・ 地区体育館など身近な場所で運動実践 **新規**
フレイル予防を意識した運動を実践します。地区体育館を利用するほか、地域の自主グループ活動への参加など、運動を継続することで、身体活動量の増加を図ります。

2. 介護予防大会の開催 **新規**

介護予防活動を促進するため、介護予防活動の取組みについて発表を行う介護予防大会を開催します。

3. 支え合い活動参加者保険の創設 **新規**

高齢者の社会参加のきっかけとなる支え合い活動の普及拡大に向けた環境整備を図るため、支え合い活動参加者の事故を補償する保険に加入します。

事業費

161万円

お問い合わせ

健康増進課 [1.]
(0532) 39-9145
kenkouzoushin@city.toyohashi.lg.jp

長寿介護課 [2. 3.]
(0532) 51-2330
choju@city.toyohashi.lg.jp

みんなで
フレイル予防！！





被災地派遣の教訓を活かした防災・減災対策 激甚化する自然災害、切迫する巨大地震に備えて

昨年の台風19号で被災した長野市をはじめ、豊橋市では被災地へ職員派遣を行っています。各災害で得た教訓を活かし、より一層の防災・減災対策を推進します。



災害対策本部

無線では伝えきれない情報も、文字や画像で共有できます

LINE WORKS



長野市 千曲川決壊



臨時救護基幹センター

応急救護所等



派遣先の避難所

ポイント

1. SNSやAIを活用して災害対応力を高めます **新規**

- (1) 新たにビジネスチャットツール「LINE WORKS」を導入し、災害対策本部の情報共有手段を強化するほか、応急救護所や医療機関等との医療情報ネットワークを構築します。
- (2) SNSに投稿された記事を、AI技術を用いてリアルタイムに収集・分析するシステム「Spectee」を導入し、情報収集能力を高めます。

2. 避難所機能を強化します **新規**

- (1) 停電時に避難所へ電力を供給するため、電気自動車及びパワーコンディショナーを導入します。
- (2) 災害時に備えて乳児用液体ミルクを備蓄します。

3. 豊橋の防災を担う「ボウサイマン」を育成します **新規**

子どもへの防災教育を通じて地域防災力の向上を図るため、親子で参加できる防災イベントや楽しんで学べる出前講座を実施します。

4. 人工呼吸器利用者の災害時の停電対策を推進します **新規**

在宅で人工呼吸器を利用している障害者等が、停電時においても利用できるよう、自家発電機等を購入するための費用を給付します。

事業費

1,434万円

お問い合わせ

防災危機管理課 [1. 2. 3.]

(0532) 51-3116

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

健康政策課 [1.]

(0532) 39-9111

kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp

障害福祉課 [4.]

(0532) 51-2345

shogaifukushi@city.toyohashi.lg.jp

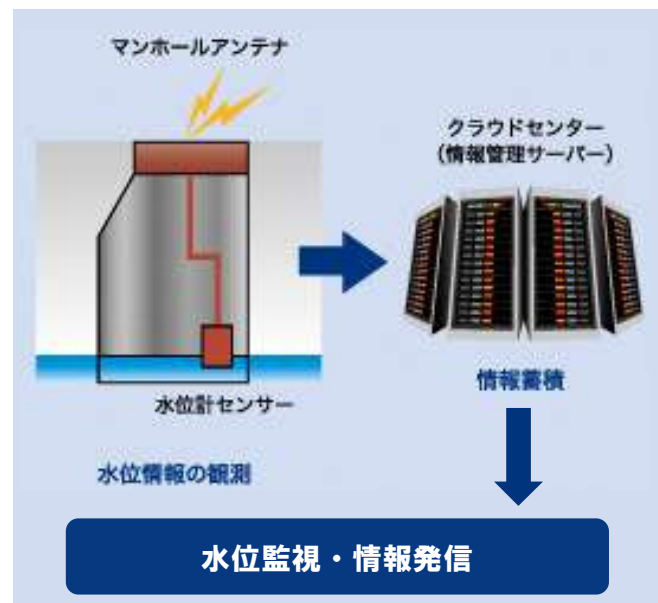


AI・IoTで下水道経営の課題を「見える化」します

老朽化施設の急増や人口減少に伴う収入減など経営環境が厳しさを増すなか、AI・IoTを活用して下水道経営に関する課題を「見える化」し、下水道経営の効率化を図ります。



クラウドを活用した水質管理



多機能型マンホール蓋による水位調査

ポイント

1. クラウドを活用した水質管理 新規

的確な水質管理を実現し公共用水域の水質保全を推進するため、下水処理場の水質測定器にWeb通信装置を設置し、水質測定情報の集積と常時監視を行います。

2. 多機能型マンホール蓋による水位調査 新規

道路冠水のメカニズムを把握し浸水対策に活用するため、多機能型マンホール蓋(Web通信装置内蔵)を設置し、管内の水位変化の常時監視を行います。

3. AI等を用いた老朽化調査及び雨天時浸入水調査 新規

老朽化調査及び雨天時浸入水調査の業務効率化を図るため、管路診断システムとAI等を用いた浸入水検知技術の可能性調査を行います。

事業費

744万円

お問い合わせ

上下水道局

下水道施設課 [1.]

(0532) 46-2854

gesuishisetsu@city.toyohashi.lg.jp

下水道整備課 [2. 3.]

(0532) 51-2766

gesuiseibi@city.toyohashi.lg.jp



消防・救急体制を強化します

県内初！ 中型水陸両用車の配備・救急車の運用体制強化

頻発する風水害への対応強化を目的に総務省消防庁から国有財産無償使用により愛知県内に初めて中型水陸両用車が配備されます。また、救急出動件数の増加を見据え運用体制を強化し、救急活動時間の延伸を食い止めます。

愛知県内初の中型水陸両用車配備

救急車の運用体制強化



中型水陸両用車

搬送車
(中型水陸両用車を積載)



ポイント

1. 中型水陸両用車及び搬送車

新規

局地的豪雨や台風などによる大規模な土砂災害や風水害時において広範囲に浸水した地域における機動的な消防活動を実施する車両です。

緊急消防援助隊登録車両として、大規模災害発生時には全国の被災地に派遣され活動します。

車両配備	令和2年3月28日（予定）
運用開始	令和2年4月1日（予定）
配備先	中消防署 前芝出張所

2. 救急車の運用体制強化

新規

高齢化社会の進展を背景とした救急需要の増加に対応するため、運用を8台体制から9台体制へ強化し、弾力的に救急事案に対応します。

・ ICTを活用した救急需要予測の検討

新規

増え続ける救急需要に対して、地域の大学と連携し、多角的な視点でデータ分析を行います。

事業費

5,532万円

お問い合わせ

消防救急課

(0532) 51-3101

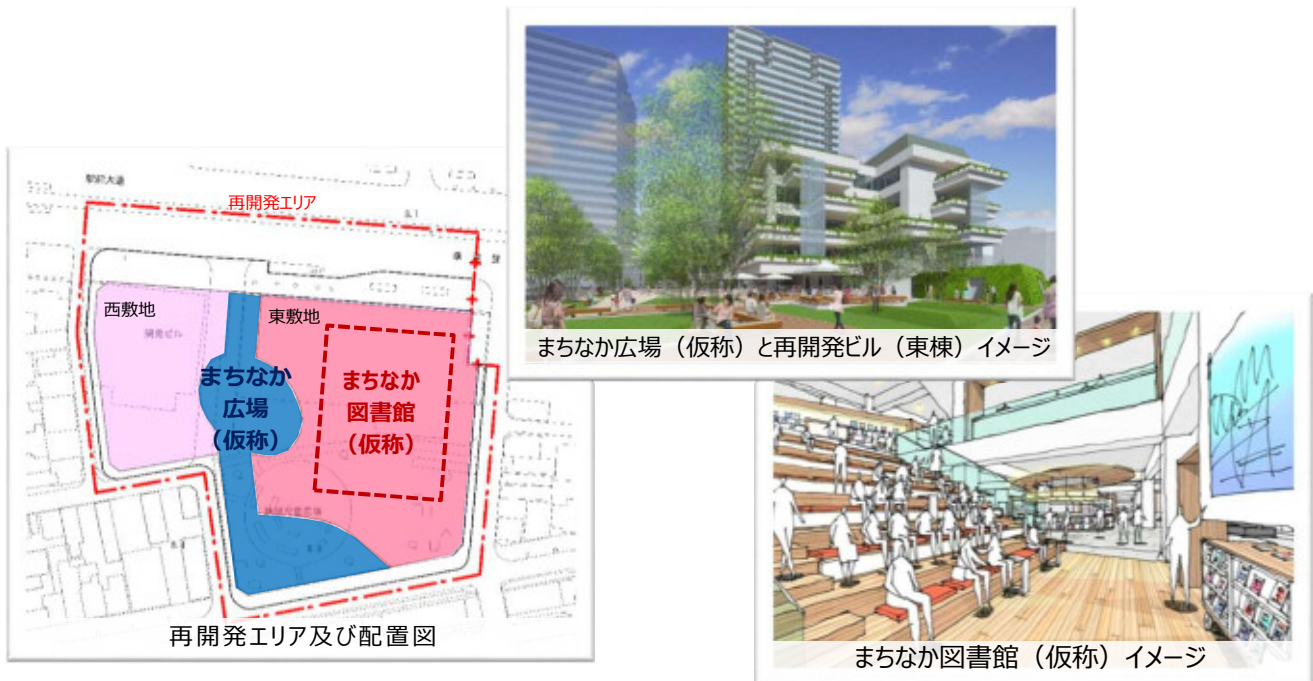
shobo99@city.toyohashi.lg.jp



令和3年度オープンを目指し まちなかに新たな図書館と広場を整備します

駅前大通二丁目地区の再開発エリア内に、多くの人が集い、交流し、滞在する「まちなか広場(仮称)」を、東敷地で建設中の再開発ビル(東棟)内に、世界を広げ、まちづくりに繋げる“知と交流の創造拠点”となる「まちなか図書館(仮称)」を整備します。

令和3年度の完成を目指し、令和2年度は工事に着手します。



ポイント

1. まちなか広場(仮称)整備事業(～令和3年度)

新規

様々な用途で使用できる「多目的空間」と、憩いや、くつろぎが得られる場として「みどりの空間」を設けます。

面積	約2,200㎡
工事	令和2～3年度

2. まちなか図書館(仮称)整備事業(～令和3年度)

誰もが気軽に訪れ、心ゆくまで本に触れ、交流を楽しむ場となる図書館を整備し、中心市街地の諸機能と連携して、にぎわいの創出を図ります。

施設規模	約4,000㎡
施設位置	再開発ビル東棟2～3階部分
蔵書	約10万冊
工事	令和2～3年度

事業費

7億9,301万円

お問い合わせ

まちなか活性課 [1.]

(0532) 55-8102

machinaka@city.toyohashi.lg.jp

まちなか図書館開館準備室 [2.]

(0532) 21-8181

machitoshou@city.toyohashi.lg.jp



令和4年度までの3年間補助を増額 危険な空家の解体へ集中的に取り組めます

老朽化した危険な空家や古い空家の早期解体を促進し、空家が放置され周辺の生活環境へ悪影響を及ぼすことを未然に防ぎ、市民の安全・安心と良好な生活環境を確保するための、空家解体費の補助を拡充します。



ポイント

1. 空家解体促進費補助金

老朽化した危険な空家*1の解体への助成を令和2～4年度の3年間増額するほか、古い空家*2の解体にも助成を開始します。

・ 補助対象

- 1 市内に存する1年以上使用されていない空家で、2分の1以上が居住の用に供されていたもの
- 2 木造
- 3 個人が所有する空家
- 4 所有権以外の権利が設定されていない空家

※ 既に解体された空家は補助対象外

・ 補助額

対象	補助額(上限)		補助率
	現行	令和2～4年度(3年間)	
老朽化した危険な空家※	20万円	拡充 50万円	解体費用の2/3
		新規 15万円	
古い空家※		新規 15万円	

*1 老朽化した危険な空家 … 住宅地区改良法第2条第4項に規定する不良住宅と同等の空家

*2 古い空家 … 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅

事業費

1,950万円

お問い合わせ

建築物安全推進室

(0532) 51-2561

kenchikuanzen@city.toyohashi.lg.jp



より良い教育環境を整えます

民間プール等の活用拡大・小中学校9校でリニューアル工事・空調設置

民間プール施設等を活用した水泳授業のモデル事業を拡大するとともに、子どもたちの学習の場であり、地域の拠点でもある学校施設について、学校の老朽化対策を進めるほか、豊橋高校に空調設備を設置するなど、より良質な教育環境を確保します。



民間プール施設での水泳授業のようす



リニューアル後の屋内運動場のイメージ

ポイント

1. 民間プール等活用モデル事業 拡充

民間プール施設等を活用した水泳授業の実施校を拡大し、インストラクターと教職員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図ります。

【実施校】

令和元年度：2校 ⇒ 令和2年度：9校

【活用する民間プール施設等】

令和元年度：2施設 ⇒ 令和2年度：9施設

2. 小中学校施設全面リニューアル工事

校舎			屋内運動場
細谷小 (南校舎) II期	豊南小 (北校舎) II期	本郷中 (中校舎) I期	松葉小 II期
玉川小 (南校舎) II期	飯村小 (北校舎) II期	本郷中 (北校舎) II期	
二川南小 (北校舎) II期	谷川小 (北校舎) II期	南陽中 (北校舎)	

(令和元年度3月補正予算に計上予定の工事を含む)

3. 豊橋高校空調設備の設置 新規

気象状況によらず、良質な教育環境を整えるため、普通教室及び特別教室等にエアコンを設置します。

事業費

22億4,105万円

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2806

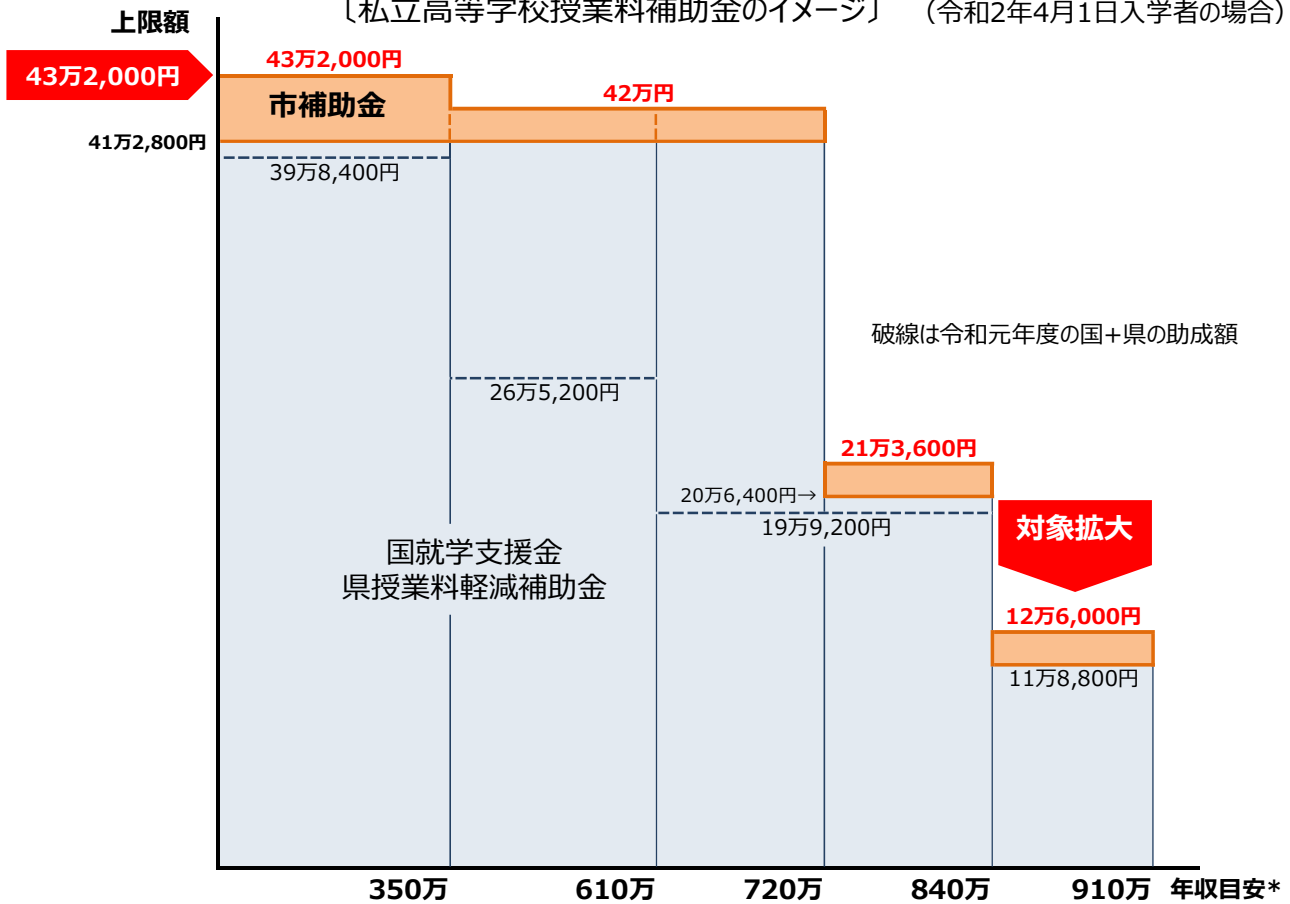
kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



私立高等学校授業料補助金を充実させます

私立高等学校に通う生徒の就学を支援する国・県の制度改正に合わせ、市独自の補助金を上乗せすることにより、家庭の教育費負担のさらなる軽減を図ります。

〔私立高等学校授業料補助金のイメージ〕 (令和2年4月1日入学者の場合)



* 年収は、両親のうちどちらか一方が働き、高校生1人(16歳以上)、中学生1人の4人世帯の目安

ポイント

1. 私立高等学校授業料補助金

- 拡充
年収720万円未満程度を対象に授業料を実質無償化
 市独自補助金を上乗せすることにより、年収720万円未満程度の世帯に対し、区分ごとに最大43万2,000円まで支給されます。
- 新規
補助対象範囲を拡大
 年収910万円未満程度の世帯まで、市独自補助金の対象者を拡大します。

※ 私立専修学校等授業料補助金もあわせて充実させます。

事業費

2,550万円

お問い合わせ

教育政策課
 (0532) 51-2805
kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



■ 芸術文化の発信

豊橋市民とともに 芸術文化を発信します

豊橋市民とともに優れた舞台芸術作品を創造・発信するとともに、市民がより質の高い芸術文化に触れられる機会を提供します。

【令和2年度の主な公演】

市民と創造する演劇「甘い丘」



桑原裕子

「ガールズ&ボーイズ」



長澤まさみ

「"KERA×古田新太"新企画 新作公演」



KERA

古田新太

「ナイフ」



近藤芳正

「未練の幽霊と怪物-『挫波』『敦賀』」



森山未来

片桐はいり

栗原類

「生まれた匂いがする」(仮題)



平田満

「ザ・空気ver.3」



永井愛

佐藤B作

ポイント

1. 芸術文化アドバイザー作・演出による市民と創造する演劇公演 **新規**

・市民と創造する演劇「甘い丘」

桑原裕子 作・演出 オーディションで選ばれた市民 出演
時期：令和3年3月6日（土）～7日（日）

2. その他注目の公演 **新規**

・新国立劇場演劇「ガールズ&ボーイズ - Girls & Boys -」

デニス・ケリー 作 小田島創志 翻訳 蓬萊竜太 演出 長澤まさみ 出演

・KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「未練の幽霊と怪物-『挫波』『敦賀』」

岡田利規 作・演出 森山未来、片桐はいり、栗原類 出演

・アル☆カンパニー「生まれた匂いがする」(仮題)

野田慈伸 作・演出 平田満、井上加奈子 出演

・二兎社「ザ・空気ver.3」

永井愛 作・演出 佐藤B作 出演

3. 市民文化会館再発見イベント **新規**

4. 愛知県民茶会 **新規**

事業費

1億7,400万円

お問い合わせ

「文化のまち」づくり課

(0532) 51-2873

bunka@city.toyohashi.lg.jp



省エネと老朽化対策をまとめて実施！ 豊橋市民病院省エネルギー事業を導入

豊橋市では持続可能なまちづくりとして施設の省エネルギー化推進に向けた取組みを進めています。平成8年に移転開院した豊橋市民病院の施設について、省エネルギー事業を実施し更新することで、環境負荷の低減および光熱水費の効果的な削減を図ります。

なお、同事業は事業者提案を令和2年度に行い、令和3年度より稼働します。



更新予定の冷暖房設備



ポイント

1. 省エネルギー事業の導入 新規

豊橋市民病院では、平成8年に松葉町から現在の青竹町に移転開設して20年以上が経過しているため、冷暖房設備などが老朽化しています。省エネルギー事業を導入し、これらの設備を環境負荷が低く省エネルギーの設備へ更新します。

【省エネルギー事業のメリット】

- ・ **光熱水費の削減**
施設設備の更新に伴い、最新の機器を導入することで環境負荷も減少し、なおかつ光熱水費の削減にも繋がります。
- ・ **初期投資費用が不要**
設備更新に係る初期費用が不要となり、負担金額の平準化を図ることができます。
- ・ **ワンストップサービス効果**
長期間のライフサイクルの視点で、計画・設計～施工などを包括的に行うことで、高い省エネルギー効果が得られます。

事業費

お問い合わせ

市民病院管理課
(0532) 33-6111
hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp



石巻地区の歴史資産を活かして 馬越長火塚古墳群の整備に向けスタートします

国史跡・馬越長火塚古墳群と周辺古墳群の整備と活用に取り組みます。そして石巻地区の豊かな歴史資源を再認識し、すぐれた文化を守り、伝え、育てる場をつくります。



馬越長火塚古墳の出土品
(国重要文化財)

馬越長火塚古墳群の整備イメージ

有力者の古墳が集まる石巻地区

いつでも入れる横穴式石室

ポイント

1. 国史跡・馬越長火塚古墳群の発掘調査 新規

・ 確認調査（発掘調査）の実施

馬越長火塚古墳群を整備するためには、発掘調査を行い、本来の形や規模を正確に理解する必要があります。発掘調査の成果を積極的に公開するとともに、史跡整備に反映させます。

・ 石巻地区の地域振興に貢献

石巻地区は古墳だけでなく、縄文時代の洞穴遺跡・嵩山蛇穴や文化庁歴史の道百選に選定された本坂道（姫街道）などがあり、豊かな歴史遺産が息づくところです。石巻地区の歴史文化をさぐり、広く情報を発信する施設を目指します。

・ 歴史文化のガイド

検討が進められているスマートインターチェンジ等を利用して豊橋市を訪れた方々にも、歴史遺産を通して本市の魅力を伝え、体感する場にしていきます。

事業費

870万円

お問い合わせ

美術博物館（文化財センター）

(0532) 56-6060

bijutsu@city.toyohashi.lg.jp

「飼い主のいない猫」を減らすため 公園地域ねこ活動を支援します



都市公園の「飼い主のいない猫」を減らすため、新たに公園における地域猫活動を開始します。この活動に対しては、地域猫不妊去勢手術費に対する補助を適用し、「飼い主のいない猫」の減少を目指します。



「地域猫活動」って？

1. 地域の住民の理解と協力のもと
2. 飼い主のいない猫を増やさないように不妊去勢手術をし
3. 適正な餌やり、餌の後片付けなどをしながら共同飼養し
4. 一代限りの命を全うさせる活動です。



手術済みの猫は、目印として耳をV字にカットしてあります
(オス：右耳、メス：左耳)



「公園地域ねこ活動団体登録制度」を開始します

- ・登録団体には、「活動登録証」を交付します。
- ・管理する猫には「地域猫不妊去勢手術費補助金」が利用できます。

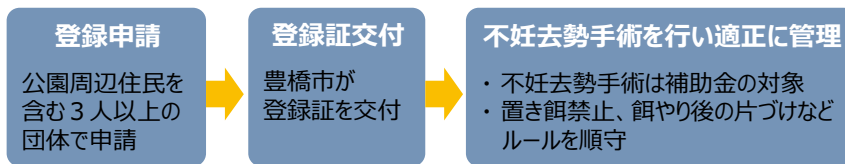


ポイント

1. 「公園地域ねこ活動団体登録制度」の開始 新規

市所管の都市公園で飼い主のいない猫を適切に管理している団体を市に登録し、ルールを守った地域猫活動を後押しします。登録団体の管理している猫には「地域猫不妊去勢手術費補助金」を利用できます。

【制度の概要】



2. 地域猫不妊去勢手術費補助金 拡充

【補助額】

オス（去勢手術費）：5,000円／頭
メス（不妊手術費）：10,000円／頭

- ・補助金は登録団体による公園内の猫の手術実施にも適用します。
- ・地域猫活動をいっそう推進するため、補助金交付予定頭数を増やします。（令和元年度：75頭 ⇒ 令和2年度：120頭）

事業費

100万円

お問い合わせ

公園緑地課 [1.]

(0532) 51-2650

koenryokuchi@city.toyohashi.lg.jp

生活衛生課 [2.]

(0532) 39-9127

seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp

■ 自転車の快適で安全な利用の推進



大人も、高校生も。 ヘルメットをかぶって安全な自転車生活を

昨年3月制定の「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」に基づく快適で安全な利用の更なる推進のため、自転車ヘルメットの着用や自転車損害賠償保険等の加入を促進するとともに、自転車通行空間を整備します。



自転車通行空間

写真提供：(株)オージーケーカブ

ポイント

1. 自転車ヘルメット購入補助金

自転車による交通事故被害軽減のため、市内在住・市内在学の方を対象に自転車ヘルメットの購入費の一部を助成します。

補助額(上限)	補助率
2,000円	購入費の1/2

2. 高校生自転車プロジェクト 拡充

ヘルメット着用促進について、高校生と一緒に考え取り組むプロジェクトを実施します。また、ヘルメット着用モデル校の指定を目指します。

・ 自転車損害賠償保険等への加入促進

自転車で交通事故を起こした際の、被害者の保護や、加害者となり損害賠償請求を負った場合の経済的負担を軽減するため、自転車損害賠償保険等への加入を促進します。

3. 自転車通行空間の整備

自転車活用推進計画に基づき、ピクトグラムや矢羽根型の路面表示など、安全で快適な自転車通行空間の環境整備を進めます。

令和2年度は、豊橋南高校周辺の市道などで整備を行います。

事業費

5,948万円

お問い合わせ

安全生活課 [1. 2.]

(0532) 51-2550

anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp

道路建設課 [3.]

(0532) 51-2526

dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

寄附で応援！豊橋市 あなたの応援したい事業に使われます



「豊橋市ふるさと寄附金」に加え、令和2年度から企業版ふるさと納税やクラウドファンディング、楽器の寄附など、様々なかたちで寄附ができるようになります。

企業版ふるさと納税 (地方創生への取組みに寄附ができます) 新規 【企業の方へ】



子どもの居場所づくりに関する取組みを行う団体への支援 新規

子ども食堂や学習支援教室など、子どもの居場所づくりに関する取組みを行う団体等へ運営費の支援を行います。

【連絡先】 **子ども未来政策課**

(0532) 51-2382 kodomo-seisaku@city.toyohashi.lg.jp

※上記は一例です。「エール」を活用した地域活性化事業(P.22)など幅広い事業へ寄附できます

クラウドファンディング 新規 【個人の方へ】



フードバンクの取組みを行う団体への支援 新規

必要とする施設や世帯に迅速かつ適正に食品を届けるフードバンクの取組みを行う団体へ運営費の支援を行います。

【連絡先】 **子ども未来政策課**

(0532) 51-2382 kodomo-seisaku@city.toyohashi.lg.jp



豊橋発の映画制作への支援 新規

公開後におけるロケ地巡りを目的とした観光客の増加などが期待される地域活性化への貢献度の高い作品について、映画制作者に対し補助金を交付します。

【連絡先】 **シティプロモーション課**

(0532) 51-2179 citypromotion@city.toyohashi.lg.jp

楽器寄附ふるさと納税 (寄附した楽器の査定額がふるさと納税として税金控除されます) 新規 【個人の方へ】



使用されなくなった楽器で中学校の音楽活動を支援 新規

ふるさと納税制度を活用した「楽器寄附ふるさと納税」を利用し、市内外から広く家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れることにより、楽器不足で悩む中学校での音楽活動の支援を行います。

【連絡先】 **教育政策課**

(0532) 51-2805 kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp

豊橋市ふるさと寄附金 【個人の方へ】



使いみちを決めて寄附ができます

「健康・福祉に関する事業」など、寄附金の使いみちを指定できます。

← WEB申込みが便利です。

【連絡先】 **財政課**

(0532) 51-2117 zaisei@city.toyohashi.lg.jp

寄附されたピアノを活用します！ 新規



寄附されたピアノを豊橋駅にストリートピアノとして設置します！

【連絡先】 **「文化のまち」づくり課**

(0532) 51-2873

bunka@city.toyohashi.lg.jp



ええじゃないか豊橋